

令和3年度 看護師職能委員会 領域Ⅱ交流会 開催報告

研修名：「新型コロナとの闘いは病院だけじゃない！～看護職に何が求められるのか～」

日時：令和4年3月12日（金曜日）9:15～11:40

場所：徳島県看護会館 中研修室

参加者数：会場参加6名 オンライン参加24名

現在も猛威を振るっている COVID-19 は、この2年間私たち看護職の働き方にも大きな影響を与えました。それは、病院のみではなく、施設や在宅においても同様であり、感染予防の指導、相談、正しい情報の提供、直接的なケアの提供などの場において看護職は重要な役割を果たしています。

看護師職能委員会では、東部保健福祉局《徳島保健所》感染疾病対策担当課長 浦西由美先生、AWA ナース 村上香奈子先生、訪問看護ステーションてとと徳島管理者 竹内永子先生をお招きし、それぞれ保健所における新型コロナウイルス感染対策や AWA ナースとして一定期間のブランクがありながら新型コロナがきっかけで復職され、新型コロナ対応に従事された経験について、また訪問看護ステーションならではの新型コロナ対策や訪問看護師のご苦労された点などをご講演いただきました。その後の意見交換、質疑応答では具体的な対応の実際など多くの質問が寄せられ、もっと意見交換の時間があれば良かったと思います。アンケート結果では、様々な立場で看護職が役割を果たしておられることがよくわかり勉強になった、タイトル通り自施設（病院）だけではないと痛感したなどの意見が聞かれ、交流会に参加して良かったという意見が多く聞かれました。

看護師職能委員会では、今後も医療・看護・介護・福祉とあらゆる場面で必要な情報が共有できるよう交流会を開催したいと考えます。多くの皆様の参加をお待ちしています。

